

國立高雄第一科技大學 97 學年度 碩士班 招生考試 試題紙

系 所 別：應用日語系

組 別：日本研究組

考科代碼：5222

考 科：專業科目

注意事項：

- 1、本科目不可使用電子計算器。
- 2、本科目不得攜帶任何翻譯工具。
- 3、本組【政經、產業、社會、文化】4項專業領域各出2題，每題各佔25%，可自由選擇4題作答。
- 4、請於答案卷上規定之範圍作答，違者該題不予計分。

〈政經〉

1 下記の文章を読んで所見や所感を論述しなさい。(25%)

【日本事情】

日本の戦後民主主義改革は憲法に代表される政治面のみでなく、経済的な改革もともなっていた。経済の民主化の主要なものは、農地改革、労働組合の保護・育成、財閥解体などである。中でも農地改革は多大な成果をあげた。これによって、1941年にはほぼ半数もいた借入地5割以上の農家が1955年には8.7%に減少し、自作農中心の構造が確立した。しかし、他の改革はなし崩し的に浸食され、変質してしまっている、といえそうだ。労働運動は、一時は政権を揺るがす力をもっていた。しかし高度成長と石油危機後の減量経営の中で労働組合運動は会社主義に吸収されてしまった。一部の職場では「民主主義は工場の前で立ちすくむ」といわれ、組合が民主主義を脅かすものにさえ成り下がっている。解体された財閥がいつのまにか「企業集団」として復活してもいる。

2 下記の文章を読んで所見や所感を論述しなさい。(25%)

【日本事情】

戦後政治と民意との食い違いを最も象徴的に示すのは、平和問題である。平和主義は、たんに占領軍が持ち込んだだけのものではない。国民の切実な実感を反映するものでもあった。しかし、平和主義を政治的に担ったのは、社会党、共産党などの階級イデオロギーを強く帯びた運動で、長い間、労働運動に影響力をもっていた。冷戦下では、こうした運動がむしろ対抗勢力としての保守主義を強めた側面もある。たとえば、農地解放で自作農となった農民は、平和主義という国民意識を共有してはいたものの、共産主義の脅威という説得に屈して、保守勢力を支えることになっ

第1頁，合計4頁【尚有試題】

た。結果として、戦前・戦中と連続性をもつ保守政党は、権力を維持し続けることになった。

〈産業〉

3 下記の文章を読んで所見や所感を論述しなさい。(25%)

【日本事情】

日本の大企業は格を重視する。規模拡大に熱心なのは、それによって利益や市場占拠率が高まるだけでなく、格も上昇すると信じるからである。しかし、規模と格はイコールではないから、規模だけ拡大して格がそれに追いつかない場合も少なくなく、そのギャップを埋めようとしていろいろな試みがなされる。

4 下記の文章を読んで所見や所感を論述しなさい。(25%)

【日本事情】

食べるという側面から利便性を向上させた意味では、外食産業の発達も深い関係がある。

アメリカからやって来て広がったハンバーガーやフライドチキンの店、早朝から深夜まで開いているファミリーレストランなどが1970年代に急成長し、チェーン店をもつ外食産業の種類はその後も次々に増える一方、持ち帰って食べる「ほかほか弁当」のチェーンも登場した。まな板と包丁のない家庭も出てきたという話がジャーナリズムをにぎわすと同時に、夕食材料を作り方と一緒に宅配する商売も少し前からサービス産業の1つとして成長してきた。

〈社会〉

5 下記の文章を読んで所見や所感を論述しなさい。(25%)

【日本事情】

日本で出版されているマンガは、その対象とする読者層が非常に多様化している。学習雑誌に代表されるような小学校低学年あたりまでを対象としたものに始まり、いわゆる少年マンガ、少女マンガ、そして青年やサラリーマン層を対象としたもの、独身女性を対象としたものなどがあり、マンガ自体もマンガを読む世代の成長とともにその対象を拡大し続けている。そうした流れの中で、1990年にはある大手出版

社のマンガ雑誌が、その性表現が青少年に悪影響を与えるとして「有害図書」に指定されるということも起こった。全国にその動きが広まると同時に、出版界でも雑誌協会を中心に自主規制を行うなど論議を引き起こしたことは記憶に新しい。

6 下記の文章を読んで所見や所感を論述しなさい。(25%)

【日本事情】

私たちの食生活の末端に、ゴミの問題がある。もちろん、家庭のゴミは、食生活にかかわるものばかりではないが、日常不断に出てくるゴミの大半は、生ゴミとスーパーなどの包装による簡易プラスチックゴミである。

とくにスーパーマーケットによる食品包装革命は、このゴミの変化に見事に現れている。以前、ゴミといえば、生ゴミがほとんどであったが、現在のゴミ回収車に積み込まれるゴミは、生ゴミよりも発泡スチロールをはじめとする、瓶・缶やビニール袋などのさまざまな包装用素材なのである。

〈文化〉

7 下記の文章を読んで所見や所感を論述しなさい。(25%)

【日本事情】

日本人の生活文化の中には贈答の行為がかなり大きな要素を占めている。「お年賀」「お中元」「お歳暮」などの定期的なものをはじめとして、「結婚祝い」「出産祝い」などの各種のお祝いや、他家を訪問した際の「手土産」、あるいは隣近所への「おすそわけ・お福わけ」などの不定期なものまで数えると、日本人の生活の中で、人に品物を贈る機会はいくつもある。

こうした贈り物のやりとりは、日本社会の人間関係の維持・調整に密接に関連している。

8 下記の文章を読んで所見や所感を論述しなさい。(25%)

【日本事情】

祭りの様式は社ごとに異なり、全国には地方色豊かなさまざまな祭りが受け継がれている。柳田国男によれば、祭りに参加せず、見物するだけの人々が出てくるようになって、祭りのあり方が大きく変わったという。傍観者たちの存在によって、祭りの神事としての意味合いが薄れ、参加者と傍観者との共同の劇的なものへと変容してきた。

経済成長の進展とともに物質万能主義的な「世俗化」もあらゆる領域に浸透し、

第3頁・合計4頁【尚有試題】

われわれが接する大半の祭りも、「ビール祭り」や「バレンタインフェア」の類の商業主義の空騒ぎでしかない。それでも人々は「祭り」の語に、かつてのハレの日の華やぎと開放感を連想し、つい心浮き立ってしまうのである。